

可動式手すりの使用方法

横可動式手すりは、0°、30°、60°、90°で握りバーが固定します。使用方法をよくお読み頂き正しく使用してください。固定機能のない縦可動式手すりは、手すりが水平状態のときのみ、手すりとして使用してください。

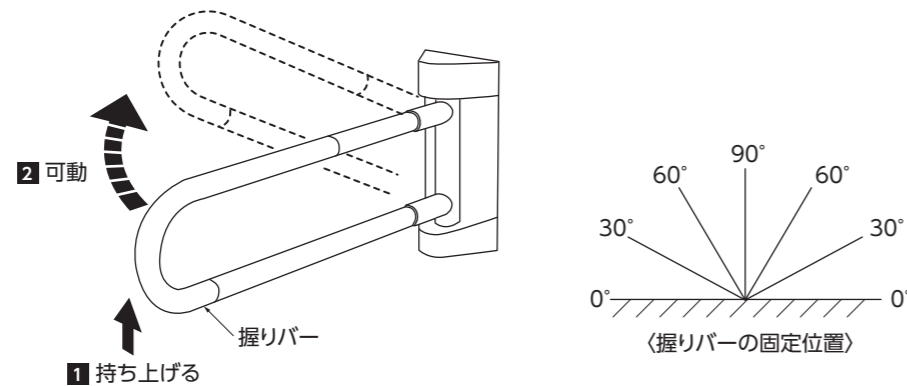
警告

必ず実行

横可動式手すりを使用時は、必ず握りバーが固定される位置で、握りバーを固定してください。また、使用後もあとから使用する人の為に、固定しておいてください。握りバーが可動することにより、転倒しケガをするおそれがあります。

SS-CS2 SC-CS2

横可動式手すり



1 固定の解除

握りバーを軽く持ち上げ、握りバーの固定を解除する。

2 握りバーの固定

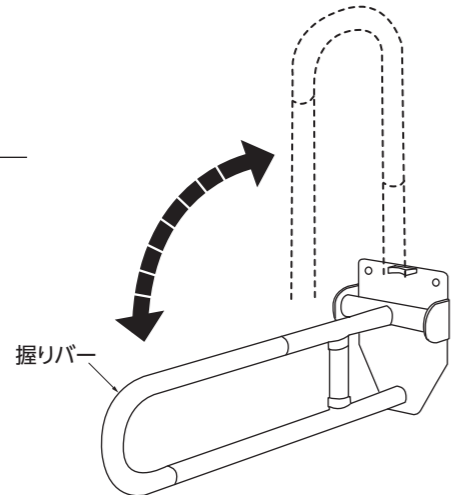
持ち上げた握りバーを、固定位置(90°、60°、30°、0°)で下げて、握りバーを固定させる。握りバーは、左右どちらかのみの可動となり、便器の方へは、可動しません。

3 固定の確認

握りバーが、確実に固定されているか確認する。

SS-CU3 SC-CU3

縦可動式手すり



使用するときには、握りバーを水平状態にする。壁面側への可動時は、握りバーを持ち上げておこなう。

お問い合わせ先は、こちらまで

ご使用の製品の型式および、不具合の内容をご確認のうえ、ホームページもしくはQRコードへアクセスください。

やさしさと安心を たしかな技術で支えます。

ナカ工業株式会社 URL <http://www.naka-kogyo.co.jp>

ナカテクノタタル株式会社 URL <http://www.naka-techno.co.jp>



携帯のカメラで左のQRコードを読み取りアクセスしてください。

取扱説明書

パブリック向けステンレス補助手すり セフル

Sefuru シリーズ

安全上のご注意

使用前に本書をよくお読みの上、正しく使用してください。また、ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号、絵表記の説明

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡またはケガを負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



△ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電)が描かれています。



⊘ 記号は、禁止の行為(してはいけないこと)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制すること(必ずすること)を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容が描かれています。

ご利用にあたって

警告

必ず実行

ぬれた手や、石けんのついた手で手すりを使用するときや、手すりがぬれていたり、石けんがついているときは、十分に注意して使用する

手が滑り、重大な事故につながるおそれがあります。

必ず実行

介助が必要な使用者の場合、介助者は、事故が発生しないように十分注意する

使用者が手すりをつかみそこなうなどにより、重大事故につながるおそれがあります。

必ず実行

手すりと壁の間に、手や腕が入り込まないように十分注意して使用する

手や腕を挟むなどにより、重大事故につながるおそれがあります。

必ず実行

可動式手すり(縦可動式・横可動式)を操作するときは、可動範囲に何も無いことを確認する

手すりに身体をぶつける、転倒するなどにより、ケガをするおそれがあります。

必ず実行

可動式手すりは、ゆっくりと操作する

乱暴に操作すると手すりが破損し、ケガをするおそれがあります。

必ず実行

横可動式手すりを使用するときは、必ず握りバーが固定されていることを確認する

固定が不完全な場合、握りバーが可動し、ケガをするおそれがあります。

禁止

分解・改造はしない

手すりの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

禁止

手すり以外の用途(ぶら下がったり、上に登ったり、ゆすったり、けったり)に使わない

手が滑る、手すりが外れたりして、ケガをするおそれがあります。

禁止

強い衝撃は与えない

手すりの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

禁止

指を挟まない

可動部に指を入れて手すりを可動させると、ケガをするおそれがあります。

禁止

定期的に、ガタツキがないか確認し、ガタツキがある状態で使用しない

手すりの破損や脱落により、ケガをするおそれがあります。

警告

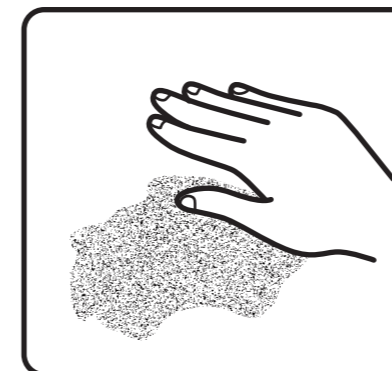
- 禁止** **縦可動式手すりをはね上げているときは、手すりとして使用しない**
手すり部分が可動することにより、転倒しケガをするおそれがあります。
- 禁止** **可動式手すりの可動部に、水をかけない**
可動式手すりの機能をそこない、ケガをするおそれがあります。
- 禁止** **手すりには、必要以上の力を加えない**
手すりの最大荷重は垂直荷重1.5kN、水平荷重800Nです。この荷重以下であれば、多少の変形やガタツキが残る場合がありますが、はずれたり、割れたりしない範囲を示します。

注意

- お願い** **定期的な点検をする**
いつまでもきれいな状態を保つために、ふだんは柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、柔らかい布を中性洗剤の1~2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れた部分を拭き取ってください。
- 裸火厳禁** **たばこなどの火を近づけない**
手すりが焦げたり、溶けたりするおそれがあります。
- 禁止** **アルカリ・酸性(弱酸性含む)・塩素系洗剤を使用しない**
アルカリ性洗剤や酸性洗剤、塩素系洗剤を使用すると、部品が変色や劣化をすることがあります。
- 禁止** **推奨品以外のクレンザーを使用しない**
推奨品以外のクリームクレンザー、ナイロンたわし等の傷つけやすいものを使用すると、部品表面に傷がついたり、変色することがあります。

お手入れ方法

笠木の汚れは日常の手入れにより、美観・清潔感を保つことができます。日常のお手入れで落ちない汚れの場合には下記の要領でお手入れしてください。



手あかなど

水拭きまたは、家庭用洗剤などを用いて、拭き取ってください。

- 家庭用洗剤を使用する場合は、柔らかい布を中性洗剤の 1~2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に水拭きと空拭きを行い、洗剤分が手すり表面に残らないようにしてください。



油、クレヨン等の
汚れ異物の付着

家庭用洗剤、強力洗剤(柑橘類洗剤)などを用いて、拭きとってください。頑固な汚れは、推奨品のクリームクレンザーで拭き取ってください。

- 洗剤を使用する場合は、柔らかい布を中性洗剤の 1~2%の水溶液に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に水拭きと空拭きを行い、洗剤分が手すり表面に残らないようにしてください。
- クリームクレンザーは、擦りすぎると光沢が落ちますので注意してください。光沢が落ちた場合はツヤ出し剤を付けた布で拭き光沢を回復させてください。



擦り傷・切り傷

サンドペーパー、ツヤ出し剤を用いて仕上げてください。

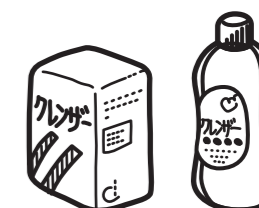
- サンドペーパーは、粗目から細目(#120→#240~#400→#1000)の順に擦って仕上げてください。サンドペーパーで落ちた光沢は、ツヤ出し剤を付けた布で光沢を回復させてください。

推奨品

- 家庭用洗剤
マイペット(花王)
マジックリン(花王)



- クリームクレンザー
ホームイングタフ(花王)
ジフ(日本リーバ)



- 強力洗剤
オレンジエース(ダイキョー)
オレンジマン(yuwa)



- ツヤ出し剤
リンレイ all ワックス(リンレイ)



- サンドペーパー
紙ヤスリ(ホームセンタ等で購入)
粗目:#120
細目:#240~#400、#1000